

# 第66期 中間株主通信

平成22年4月1日～平成22年9月30日



前田建設工業株式会社

株主の皆様へ	1
MAEDAニュース	3
グループ会社紹介	4
完成工事紹介	5
施工中の工事紹介	6
連結財務諸表（中間）の要旨	7
業績の推移（連結）	9
会社の概要・役員	10



CSR報告書

本年8月に「CSR報告書2010」を発行いたしました。  
 なお、昨年発行した「CSR報告書2009」は、第3回エコ印刷大賞（エコ印刷研究会主催）を受賞いたしました。

表紙：Brillia Tower 神戸元町（兵庫県）

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は平成22年9月30日をもって、第66期の中間期を終了いたしましたので、ここに中間の事業の概況をご報告申し上げます。

当中間期におけるわが国経済は、企業収益に改善の動きが見られましたが、厳しい雇用情勢に加え、急激な円高の進行や株式市況の低迷により景気は依然として厳しい状況にありました。

建設業界におきましては、民間住宅建設投資に一部持ち直しの兆しが見られたものの、公共投資は低調に推移し、受注環境は厳しい状況が続きました。

このような状況のなかで、当社は「すべてのステークホルダーから最も信頼される企業となる」を基本理念とし、基本理念実現のために「環境経営No.1」「すべての業務プロセスでクッションゼロ」「社会変化に対応した改革の継続」を重点施策とする中期経営計画（平成22年度～平成24年度）をスタートさせ、環境活動の活性化と見える化を推進し、事業・企業・個人のレベルで積極的に活動するとともに、利益重視の体質の維持・向上に努めてまいりました。

当中間期の業績につきましては、以下のとおりになりました。

## ①売上について

当中間期の連結ベースの売上高は、前年中間期比23.0%減の1,316億円余となり、当社単体での売上高（完成工事高）は、前年中間期比27.0%減の1,112億円余となりました。

## ②利益について

当中間期の連結ベースの利益につきましては、営業利益7億円余、経常損失2億円余となり、中間純損失3億円余となりました。

当社グループの部門別の状況は次のとおりであります。

(建築事業)

建築事業は、集合住宅や事務所ビルを中心とする建設工事を展開しており、売上高は701億円余、セグメント利益につきましては2億円余となりました。

(土木事業)

土木事業は、橋梁やトンネルを中心とする建設工事を展開しており、売上高は480億円余、セグメント利益につきましては14億円余となりました。

(不動産事業)

不動産事業は、土地・建物の賃貸や販売を中心に展開しており、売上高は29億円余、セグメント損失につきましては4億円余となりました。

(その他の事業)

その他の事業は、建設資機材の製造販売業を中心にサービス業まで幅広く展開しており、売上高は104億円余、セグメント損失につきましては5億円余となりました。

今後の見通しにつきましては、急激な円高や株価の低迷などによる企業収益への影響、雇用情勢の更なる悪化なども懸念され、景気は厳しい状況で推移するものと予想されます。

建設業界におきましては、公共投資は予算縮減の影響による減少が予測され、民間建設投資も先行きに対する不透明感から、当面、低水準で推移する可能性が高く、経営環境は今後とも厳しい状況が続くものと見込まれます。

このような状況のなかで、当社は、中期経営計画の推進に引き続き全社一丸となって取り組み、総合的な環境サービスの提供、生産性・収益力の向上、

新市場の開拓等に全力を尽くしてまいります。また、「MAEDA環境経営宣言」のもと、独自性あるさまざまな環境活動を推進し、社会から信頼される建設会社を目指し、更なる社業の発展に努力を重ねる所存でございます。

株主の皆様におかれましては、今後とも何とぞ格別のご理解とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

平成22年12月



代表取締役社長 小原 好一

## 環境経営に関する取り組み

当社は「地球もMAEDAの大切なステークホルダー」と位置付けるとともに、「環境経営No.1と言われる建設会社」を目指しております。当社は、事業を通して、企業市民として、個人として、環境経営に向けてさまざまな活動に取り組んでおります。

### <事業を通して>



発注者：九州地方整備局  
熊本合同庁舎A棟建築工事

熊本合同庁舎作業所では、施工計画段階より4R活動（Refuse；持ち込まない、Reduce；減らす、Reuse；再利用、Recycle；再資源化）を立案・計画・実施し、その成果が認められ、以下の賞を受賞しました。

- 平成21年度日本土木工業協会  
公害防止・建設副産物対策優良事業所 本部表彰
- 平成22年度リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰  
国土交通大臣賞
- 循環型社会形成推進功労者等環境大臣表彰

### <企業市民として>



(スリランカ ピナワラ「象の孤児院」)

当社は、生物多様性の保全と生態系サービスの持続可能な利用へ向け、「MAEDA生物多様性行動指針」を制定するとともに、セイロン象の孤象の保護・育成・野生返還プロジェクトを支援しております。

当社は、今後も事業を通して、企業として、個人として、環境へのさまざまな取り組みを積極的に行っていく所存です。

### <個人として>



Me-pon企画「イキイキ写真図鑑」  
ホームページ  
([http://www.me-pon.net/photo\\_contest/](http://www.me-pon.net/photo_contest/))

当社は、全社員・家族を含めた全生活領域で自発的に活動を行ってもらうとともに、楽しく環境活動に取り組むためのお手伝いをすることを目的とした前田版エコポイント制度「Me-pon」を運用しています。

社員・家族の取り組みとして、身の回りの昆虫や動植物の写真を投稿することができる「イキイキ写真図鑑 みつけた！ 小さなのち」を公開しています。



## フジビルサービス株式会社

フジビルサービス株式会社は、建物のトータルメンテナンス企業として、昭和61年に設立されました。

### ■ 変わり行く未来へ、期待と夢を実現

生活環境が求める多様なニーズとお客様のご要望に、前田建設グループの総合技術を基盤とした高品質な施工により、新たな建物の価値を創造します。

### ■ 一貫体制によるワンストップソリューションをご提供

主たる業務として「新築・改修」「ビル管理」「警備業務」の部門により「調査→診断→企画→設計→施工→運用保守管理」のトータルな流れで、信頼・安心・満足をご提供します。

#### ①新築・改修部門

新築では建物の機能・デザインを当社独自の設計によるプランでご提案します。

改修においては約1,040棟50,120戸の豊富な実績を生かした技術力・品質・施工・安全管理能力は各得意先より高い評価をいただいております。

品質管理ではISO9001の認証を受けております。

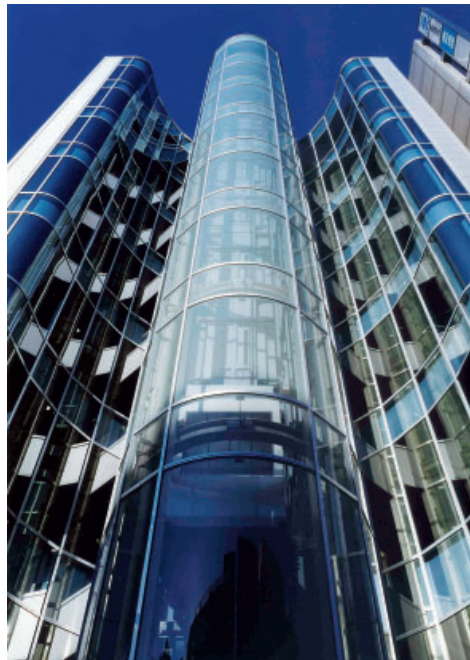
#### ②ビル管理部門

メンテナンスをはじめとした建物管理、水質・空調などの環境管理、設備の保守・点検・監視・記録等から防災・保全まで、ビルの持つ機能性・快適性の確保及び建物の寿命維持、一貫した総合管理を常時250件手がけております。

#### ③警備業務部門

エキスパートによるビル内外の警備、最新鋭のセンサーによる警戒警備と迅速な出動システム等で、あらゆる面から安全と安心を実現しており年間約120件の実績があります。

**次世代へ向け、お客様と地域社会へ  
末永く貢献する企業をめざして  
歩み続けます。**



同社竣工物件

#### 【会社概要】

本社所在地：〒103-0025

東京都中央区日本橋茅場町三丁目1番11号  
TEL03-3639-7600 (代表)

支店・営業所：東北、大阪、九州、中部支店及び神奈川営業所  
設立年月日：昭和61年(1986)年3月13日

資本金：1億円

売上高：146億8,600万円(平成22年3月期)

代表者：代表取締役社長 工藤和男

従業員：146名(平成22年3月末現在)

事業の主な内容

- 1) 土木建築工事の企画、測量、設計、施工、監理及びコンサルティング
- 2) 建築物の調査診断、修理、改造、増築等の計画、設計、施工、監理及びコンサルティング
- 3) 建物の設備管理、保全業務
- 4) 保安警備業務

登録：建設業法；特定建設業者  
国土交通大臣許可(特-19)第14354号

認証取得：ISO9001(本社建築部門)

URL：<http://www.fbs-maeda.co.jp/>

## 完成工事紹介



### クレヴィア恵比寿

当建物は、JR山手線恵比寿駅東口徒歩2分に建つ76世帯と2つの事務所からなる当社設計施工の集合住宅です。間口が狭く、周囲を建物に囲まれ非常に厳しい施工条件のなか、周辺環境に配慮し、作業効率の向上に努めました。



### ヤマト運輸株式会社愛知APF新築工事

当建物は、愛知県小牧市にあるヤマト運輸株式会社の自動倉庫です。この建物は、当社設計施工であり、商品の保管、ピッキング、梱包、出荷の機能を有し商品の品質管理のため倉庫部は、室温設定が可能な空調設備を備えています。また、CO<sub>2</sub>削減工法を採用するなど環境に対する積極的な取り組みをいたしました。



### 北多摩一号水再生センター・南多摩水再生センター間連絡管工事

当工事は、水再生センター間の相互融通機能を確保するため、北多摩一号と南多摩の両水再生センター間約3.35kmを泥土圧式シールド機で掘進し、連絡管を構築する工事です。当初計画では掘削土を産業廃棄物として処分することになっていましたが、掘削土の運搬を流体輸送に変更し、分級処理し建設発生土として再生利用を行うことで、環境負荷及びコスト低減を図りました。



### 阪和自動車道 海南インターチェンジ工事

当工事は、阪和自動車道の4車線化工事（海南～有田）10.4kmのうち、供用中の海南インターチェンジ（延長1,750m）の改良工事です。現在、2車線で供用中の高速道路のインターチェンジ部分を4車線に改良するという前例のない特殊な工事であり、一般車両の安全を最優先に5年間にわたり施工しました。

# 法政大学小金井再開発第2期工事（後半）

当工事は、新校舎建設後、旧校舎を解体し、中庭・グラウンド等を整備する工事です。

当社では、ライフサイクル全般にわたって情報を一元化し、プロジェクト関係者間（事業主、設計会社、施工会社、協力会社）で共有できる新しい建設情報管理システム「TPMs」を推進しています。

施工場所周辺は住宅地であるため、工事を行うには近隣にお住まいの方々のご理解が欠かせません。従来は、工程表を配布または掲示することで工事に関するご理解を求めておりましたが、今回はそれらに加え、WEBカメラで撮影した現場のリアルタイム動画を大学と当社のホームページ上に公開しています。現場の内部を包み隠さず見せることで、近隣の方だけではなく、竣工後に実際の利用者になる学生にも、建物建設の一部始終を観察していただけるので、工事や完成する建物に対する理解、親しみを深めていただくことが可能となりました。

今後とも工事に関して積極的に情報開示を行うとともに、無事竣工を目指します。

※TPMs…トータル プロセス マネジメント システムの略称。当社の登録商標。

### 【工事概要】

所在地：東京都小金井市梶野町3丁目7番2号  
法政大学小金井キャンパス

発注者：学校法人法政大学

工期：平成21年8月～平成23年12月

延床面積：14,165㎡

構造規模：RC造

階数：地下1階、地上4階、塔屋1階

用途：大学



平成22年10月末 施工中工事写真（北西面全景）



完成予想図（南西面全景）



# 連結財務諸表(中間)の要旨

## ●連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当中間期 (平成22年9月30日現在)	前中間期 (平成21年9月30日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産	211,164	251,305
現金預金	25,087	29,585
受取手形・完成工事未収入金等	104,224	123,704
未成工事支出金	17,572	21,471
その他	64,280	76,544
固定資産	152,785	160,192
有形固定資産	61,820	64,848
建物・構築物	21,514	23,093
機械・運搬具・工具・器具備品	6,120	7,099
土地	33,979	34,327
建設仮勘定	0	76
その他	204	252
無形固定資産	1,033	2,019
投資その他の資産	89,931	93,324
投資有価証券	80,798	82,654
その他	9,132	10,670
<b>資産合計</b>	<b>363,949</b>	<b>411,498</b>

科目	当中間期 (平成22年9月30日現在)	前中間期 (平成21年9月30日現在)
<b>負債の部</b>		
流動負債	151,051	192,815
工事未払金等	43,823	57,085
短期借入金	51,053	71,836
一年以内償還の社債	10,000	15,000
未成工事受入金	24,495	27,452
その他	21,678	21,441
固定負債	92,399	94,958
社債	33,876	43,876
長期借入金	33,523	24,992
退職給付引当金	16,661	15,936
その他	8,338	10,153
<b>負債合計</b>	<b>243,451</b>	<b>287,774</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	110,792	110,299
資本金	23,454	23,454
資本剰余金	31,709	31,709
利益剰余金	58,145	57,651
自己株式	△2,517	△2,516
評価・換算差額等	6,441	9,337
その他有価証券評価差額金	6,519	9,433
為替換算調整勘定	△77	△96
少数株主持分	3,263	4,087
<b>純資産合計</b>	<b>120,498</b>	<b>123,723</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>363,949</b>	<b>411,498</b>



## ●連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当中間期	前中間期
	(平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)	(平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)
売上高	131,611	170,850
売上原価	120,096	158,704
販売費及び一般管理費	10,811	11,330
営業損益	703	814
営業外収益	1,339	1,406
営業外費用	2,253	1,502
経常損益	△209	718
特別利益	124	79
特別損失	514	659
税金等調整前中間純損益	△600	138
法人税、住民税及び事業税	98	173
法人税等調整額	9	345
少数株主損失	△383	△699
中間純損益	△324	318

## ●連結キャッシュ・フロー計算書

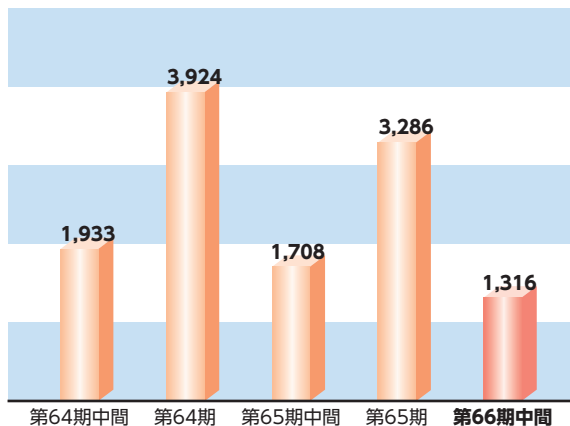
(単位：百万円)

科 目	当中間期	前中間期
	(平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)	(平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,503	△8,004
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,024	△2,055
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,717	10,352
現金及び現金同等物に係る換算差額	△249	△195
現金及び現金同等物の増加・減少(△)額	△4,487	97
現金及び現金同等物の期首残高	29,034	28,856
現金及び現金同等物の中間期末残高	24,546	28,953

# 業績の推移（連結）

## ●売上高

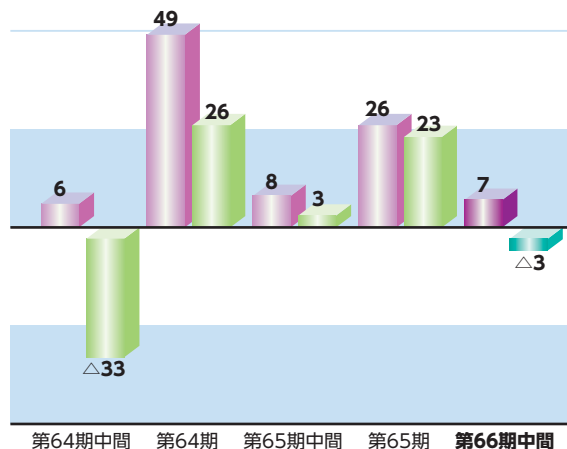
（単位：億円）



## ●営業利益・中間（当期）純利益

（単位：億円）

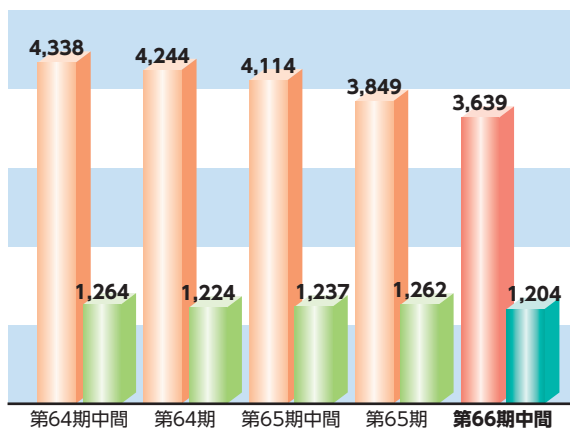
■ 営業利益 ■ 中間(当期)純利益



## ●総資産・純資産

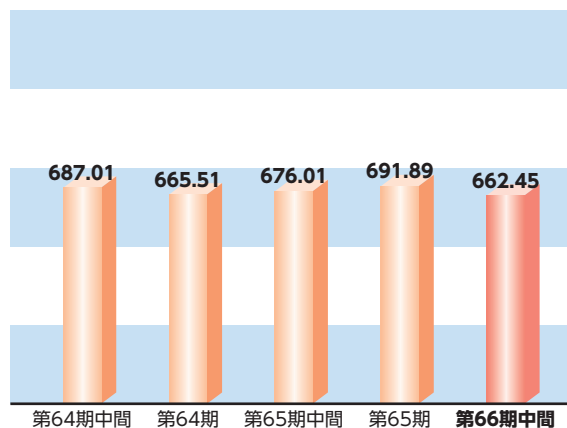
（単位：億円）

■ 総資産 ■ 純資産



## ●1株当たり純資産

（単位：円）



## 会社の概要 (平成22年9月30日現在)

- 創業 大正8 (1919) 年1月8日
- 設立 昭和21 (1946) 年11月6日
- 資本金 23,454,968,254円
- 従業員 2,792名  
(連結 3,865名)
- ホームページアドレス <http://www.maeda.co.jp/>
- 発行可能株式総数 635,500,000株
- 発行済株式総数 185,213,602株
- 株主数 10,078名
- 大株主 (上位10名)

株主名	持株数	持株比率
光が丘興産株式会社	24,311 <sup>千株</sup>	13.13%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	12,546	6.77
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	8,747	4.72
前田道路株式会社	7,900	4.27
前田建設工業社員持株会	6,287	3.39
株式会社みずほコーポレート銀行	5,100	2.75
シービーエヌワイデイエフエイインターナショナル キャップバリュポートフォリオ	4,690	2.53
株式会社三井住友銀行	4,150	2.24
住友不動産株式会社	3,885	2.10
丸一鋼管株式会社	3,104	1.68

## 役員 (平成22年9月30日現在)

取締役会長	前田 靖 治
取締役副会長	廣田 正 正
代表取締役社長	執行役員社長 小原 好 一
代表取締役副社長	執行役員副社長 江尻 正 義
取締役	専務執行役員 前田 操 治
取締役	専務執行役員 福田 幸 二 郎
代表取締役	常務執行役員 長谷 康 生
取締役	常務執行役員 永尾 眞 隆
取締役	常務執行役員 西川 博 彦
取締役	常務執行役員 早坂 善 彦
取締役	執行役員 小倉 通
取締役	半林 亨
取締役	渡邊 顯

常勤監査役	徳井 豊
常勤監査役	中西 健
常勤監査役	和田 秀 幸
監査役	松崎 勝
監査役	渡辺 俊 之

常務執行役員	横田 浩
常務執行役員	奥井 孝 之
常務執行役員	稲津 俊 昭
常務執行役員	荘司 利 昭
執行役員	杉本 嘉 伸
執行役員	柿沼 昭 彦
執行役員	加藤 正 勝
執行役員	野村 義 安
執行役員	青木 敏 久
執行役員	川本 正 和
執行役員	角田 敏 文
執行役員	稲村 雄 三
執行役員	西本 哲 二
執行役員	勝又 正 治
執行役員	幡鎌 裕 二
執行役員	岐部 一 誠
執行役員	柳田 裕 之
執行役員	今泉 保 彦

- (注) 1. 取締役半林亨及び取締役渡邊顯の両氏は、社外取締役であります。  
2. 常勤監査役徳井豊、監査役松崎勝及び監査役渡辺俊之の3氏は、社外監査役であります。

## ●事業所

本 店	東京都千代田区富士見二丁目10番26号 〒102-8151 ☎(03) 3265-5551 本店は、平成23年1月より下記住所へ移転を予定しております。 新住所：東京都千代田区猿楽町二丁目8番8号（猿楽町ビル） 〒101-0064 代表番号は変更ございません。	九州支店	福岡市博多区博多駅東二丁目14番1号（スフィクスセンター） 〒812-0013 ☎(092) 451-1541
光が丘本社	東京都練馬区高松五丁目8番20号 J.CITY 〒179-8903	香港支店	Room1601-1605 New East Ocean Centre, 9 Science Museum Road, T.S.T. East, Kowloon, Hong Kong
北海道支店	札幌市中央区南十一条西十一丁目2番1号 〒064-8552 ☎(011) 551-6141	技術研究所	東京都練馬区旭町一丁目39番16号 〒179-8914 ☎(03) 3977-2241
東北支店	仙台市青葉区二日町4番11号 〒980-0802 ☎(022) 225-8862	営業所	全国21カ所（平成22年10月現在）
関東支店	さいたま市大宮区吉敷町一丁目75番1（太陽生命大宮吉敷町ビル） 〒330-0843 ☎(048) 649-1601	海外事業所	バンコック出張所（タイ） プノンペン出張所（カンボジア） 台湾出張所（台湾） スリランカ出張所（スリランカ） グアム出張所（米国） 米国出張所（米国） 北京駐在員事務所（中国） ハノイ駐在員事務所（ベトナム）
東京支店	東京都千代田区九段北四丁目3番1号（一口坂中央ビル） 〒102-8215 ☎(03) 3222-0820		
横浜支店	横浜市神奈川区反町二丁目16番地8 〒221-0825 ☎(045) 313-7000		
北陸支店	富山市牛島町18番7号（アーバンプレイス） 〒930-0858 ☎(076) 431-7531		
中部支店	名古屋市中区栄五丁目25番25号 〒460-0008 ☎(052) 251-6251		
関西支店	大阪市中央区久太郎町二丁目5番30号 〒541-8529 ☎(06) 6243-2411		
中国支店	広島市中区鶴見町4番22号 〒730-0045 ☎(082) 246-9181		

## ●株主メモ

1. 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
2. 定時株主総会 6月中
3. 上記基準日 3月31日 なお、あらかじめ公告して、基準日を定めることがあります。
4. 剰余金の配当 毎年3月31日の最終の株主名簿に記録された株主に対してお支払いいたします。
5. 単元株式数 1,000株
6. 株主名簿管理人 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部  
〒103-8670 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
7. 公告方法 当社のホームページ（<http://www.maeda.co.jp/>）に掲載します。  
但し、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。

### <郵便物送付先・お問い合わせ先>

みずほ信託銀行株式会社 証券代行部  
〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
☎0120-288-324（フリーダイヤル）

証券会社をご利用の場合、住所変更や買取請求はご利用の証券会社にお問い合わせください。未払配当金の支払い、株式配当金支払明細書の発行に関する手続きまたは特別口座に記録された株式に関するお手続きにつきましては、上記みずほ信託銀行にお問い合わせください。

